

# 桜小おやじの会ニュース

VOL. 15 (2009.5.14)

発行：桜小おやじの会（会長 福田）

電話：957-5033

事務局：桜小学校杉原教務主任

## 稲作体験を実施

5月11日（月）午前9時30分から、采女1丁目の「桜小実習田（仮称）」において、桜小学校の3年生、5年生、3,4,5組で稲作体験の第1段階である「田植え」を行った。

当日は、お天気にも恵まれ、子どもたちも初めての体験に「足がにゆるにゆるする」とか「泥の感じが気持ちいい」などそれぞれの感想を言い合いながら、稲を一生懸命植えていた。

稲作体験は、桜小の授業の一環として行われることから、おやじの会だけではなく、PTA、当該学年の保護者にも協力を依頼し、多くの保護者に協力いただいた。

協力を依頼した背景には、平日の活動であることから、おやじの会会員の参加が見込めないことと併せ、水田という初めての場所での作業のため、子どもの安全を第一に考えたからである。極端な話ではあるが、大人の目が少ないと、転んで頭から水田に入ってしまうと溺れるという最悪の事態も考慮に入れたからである。

しかしながら、そういった事態もなく無事に終了できたことに安堵している。

稲作体験は、これから「雑草取り」、「稲刈り」と作業があるが、その場合にもできる限り子どもたちの安全を考慮したいと思うので、作業の際には是非ともPTA、保護者のご協力をお願いしたい。

当日は、桜小学校を午前9時に出発し、水田には20分ほどで到着し、水田の地主である「渡辺さん」に田植えの指導を受けた後に、9時40分から子どもたちによる実際の田植え作業が始まった。

水田の貸与、田植えの指導を頂いた渡辺さんご夫妻には改めて感謝申し上げますとともに、稲の苗を寄贈いただいたおやじの会会員である中村さん、さらには子どもたちのために水道を貸していただいた小野さんにも感謝申し上げます。

.....切り取り線



田植え風景

## おやじの会ポストへの回答

おやじの会ポストに「桜小の裏門に回収ボックスが無くて子どもが迷った」とのご意見をいただきました。

誠に申し訳ありませんが、現時点では回収ボックスが1つしかなく（桜サッカーから寄付いただいた古くなったボールケース）、金曜日の回収に当たっては、正門（団地側）の昇降口にしか設置できないような状況です。

このような状況をご理解いただき、子どもさんにはアルミ缶は正門側の昇降口に持って来ていただくようお願いできれば幸いです。

今後、学校側とも相談して、おやじの会として「常設の回収ボックス」を作製・設置することも考えております。

このような体制が整いましたら、おやじの会ニュースでお知らせいたしますので、アルミ缶回収に当たって今まで以上のご協力をお願いできれば幸いです。

## 会員及びご意見募集

おやじの会では会員とご意見を募集しています。下記にご記入いただき、子どもさんを通じて学校の「おやじの会ポスト」に投函下さい。会員応募は事務局宛て電話でも結構です。ご意見は無記名でも結構です。

.....

会員応募	・	ご意見	(どちらかに丸を付けてください。ご意見は無記名でも結構です。)	
児童名		第	学年	組
おやじ名		住所		電話番号
ご意見				